

東舞鶴高校第1学年部通信

令和元年10月31日発行
～あつという間に 編～
文責 第1学年部長

2年次のコースが決まりました

コース選択は、6月の仮登録から始まり、夏休みの三者懇談等で担任からのアドバイスも踏まえ、9月から10月にかけて本登録を行いました。

その結果、総合教養コースが3クラス、国際文理コースが1クラスとなりました。

(国際文理コースは、人文系と数理系に分かれています。)

国際文理コースは、皆さんから始まる新たなコースになります。

東舞鶴高校にとっても新たな歴史の幕開けです。つまり、皆さんが新たな歴史を築いていく先駆者になります。東舞鶴高校の一つの特色である英語活動を通し国際

1年合言葉
『チーム東舞』
『社会人意識』
『学力伸長』



感覚を身につけることができるコースです。一方、総合教養コースは、これまでの歴史を継承し、多様な進路希望に対応できるコースとなっています。

どちらのコースにも言えますが、自分の目標を明確に持ち学習し続けることが希望進路を実現するための近道となります。

中間考査の振り返り

～2学期期末考査まで約3週間～



2学期中間考査が終了し、2週間以上が経過しました。それぞれのクラスで、今後の学習につなげるために中間考査の振り返りを行いました。ある生徒の振り返りに $+α$ を追加します。

「全てにおいて甘かった。」 $<+α$ どう甘かったのか。今後何をすればよいかなどの分析が急務です。 $>$

「赤点が一つもなかった。」 $<+α$ おめでとう。次はもっと上を目指して計画しましょう。 $>$

「今回はプラス20～30点取れるようにしたい。」 $<+α$ 具体的方策を考えましょう。 $>$

これらの振り返りは、中間考査の結果の感想や期末考査への裏付けのない期待を述べているにすぎません。 $+α$ のすべてが正しいわけではありませんが、振り返りの時点で思っていることをより具体化し、次の一歩(対策)を考えましょう。そうでないと、同じことを繰り返し、同じような結果が容易に予想できます。

さて、これまでも伝えてきましたが、学習の「PDCA サイクル」を構築することを大切にしています。

そのことを踏まえて、次の生徒の振り返りを読んでみてください。

「前回より下がってしまった教科があったので悔しかった。テスト対策を早めに、丁寧に始めていきたい。」

「日頃からの自主学習も大切にしていきたい。」「工夫して自分に合った勉強法を見つけたいです。」

「〇〇のテストが相変わらず点が悪いので、勉強のやり方を変えてみようと思う。」 などなど

こちらの振り返りは、次に向けて行うことが明確です。しかし、すぐに結果が出るとは限りませんが、今後の成功への第一歩となることは、偉人も伝えています。トーマス・エジソンの名言を紹介します。

*** 私たちの最大の弱点は諦めることだ。成功するのに最も確実な方法は、常にもう一度だけ試してみることだ。**

*** 私は決して落ち込んだりしない。うまくいかない方法の一つ捨てるたびに、また前進しているのだから。**

<11月の予定>

	日	行事等	日	行事等	日	行事等	日	行事等	日	行事等
月			4	振替休日	11		18		25	期末考査
火			5		12		19		26	期末考査
水			6	GTEC	13		20		27	期末考査
木			7	GTEC	14		21		28	期末考査
金	1	東高展前日準備	8	後期生徒会選挙立会演説会	15		22		29	人権学習

※2(土) 東高展 / 3(日) 進研総合学力テスト